

副会長就任のご挨拶



羽多野 宏子

第11回定時総会で副会長に再任されました。藤原会長他3名の副会長と一緒に、本会の事業活動に参加できることの重責を感じています。年齢を重ねており体力が続く

かなと少し不安ですが、健康に留意して努めたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

今年度も会員増対策が組織運営には必須の課題です。残念なことに目標3000人に到達出来ておらず、日本栄養士会・他の職能団体も同様な課題です。人口減少、働き方改革等の制度改革も相まって、組織運営が困難な世の中といえます。しかしながら当会では、会員増の部会もあります。今後も学生会員へのアプローチ、退会者減への対応、魅力ある研修開催などと、広報活動の周知・拡大と、工夫した入会勧誘で会員増対策を図ってまいります。

また私は総務部として、活動の総括と栄養ケア・ステーション事業を担当いたします。

地域包括ケアシステム進捗の中、地域活動部会を中心に10余年間、人材教育・育成を進めて現在は認定栄養ケア・ステーション22か所（内機能強化型6）、登録栄養ケアチーム8か所の計30か所の活動の支援と、介護予防事業として大阪府と他職種5団体と一緒に、高齢者の自立支援のための指導者養成研修開催、連携事業に携わっています。会員の意見に耳を傾け、自身の活動に生かす内容で参加者も多く、地域における栄養課題や、課題解決の支援ができる専門職育成に、今年度も取り組んでまいります。

本年6月からの医療・介護・障害のトリプル改定では、管理栄養士の名称がかなり散見され嬉しい限りです。私事ですが私の勤務する病院（療養病床）の栄養管理部では「食事は食べるくすりです」というモットーのもと来年60周年を迎え直営で運営しています。最後まで口から食べたい、食べさせてほしいという患者・家族様の思いにお応えし、だしにこだわり、すべて手づくりです。普通食～治療食～嚥下食（NST/SST）まで個別対応をし、『憧れの病院食』と入院患者様の言葉をいただき、紹介の地域医療機関からも病院食の評価と信頼をいただいています。管理栄養士が医療職としての認識を得た今、今後も『食と栄養のプロ』として会員の皆さまとともに活動発展できることを願っています。



中野 忠雄

今期も引き続き副会長を就任することになりました。長い間、理事をやらせていただいておりますが、最初は管理栄養士・栄養士の地位向

上のためにと偉そうな目標を立てて理事になりましたが、最近は何よりも理事をやらせていただくことが自分のためになっていると感じています。病院の管理栄養士しか知らない私にとって大阪府栄養士会の7つの職域（部会）の活動を知ることは、とても新鮮であり、いろいろな研修会の企画や運営に参加することによって、何より自分のスキルアップにつながっていますし、今の管理栄養士の養成の仕事に大いに役立っています。最近では栄養士の仕事についても栄養士会に入会しない、さらに栄養士会の理事になる方もなかなか見つからないということもよく聞きます。私は入会すること自体がメリットであり、栄養士会に関わることが会員益につながると考えています。近隣の方でまだ入会されていない方がおられましたら、入会を勧めただけであれば幸いです。コロナ過も少し落ち着き、集合の研修会も徐々に増えてきています。研修会担当理事として以前のように研修会の場で、会員同士がふれあい、悩みごとの相談や意見交換ができる場を増やしていきたいと思っております。

さて、我々管理栄養士・栄養士を取り巻く環境を考えますと、若い女性のやせの問題、依然と多い働き盛りの生活習慣病、さらに高齢者の低栄養の問題など多くの課題があります。

「食によりみんなを幸せにする」仕事に携わる私たちの仕事の重要性は増していきばかりです。この課題解決のためには我々の仲間のスキルアップが欠かせません。具体的な方法として大阪府栄養士会としましても、医療職にふさわしい生涯教育の充実、タイムリーで全員が聞きたいと思う各種講演会の開催など、事業部担当理事のひとりとして微力ながら頑張りたいと思っております。また、次世代を担う管理栄養士・栄養士の養成にも、もう少しの間かわり、管理栄養士という仕事のやりがいとすばらしさを伝えていきたいと思っています。2年間どうぞよろしくお願いいたします。

副会長就任のご挨拶



西村 智子

今期も副会長の大役を仰せつかりました。まずはこれまでの反省から書きたいと思います。私は約20年前に大阪府栄養士会の理事になり、栄養士会とはこんな組織なんだとびっくりしました。なぜなら研修会などをする団体だと思っていたからです。私が理事になり、研修会担当になって研修会の計画を立てる側になり会員が何を求めているのか、どんな講師がいいのか、話し合いをするようになりました。そして、私も会員の皆さんが望む研修会等、思いを叶えられるよう頑張ろうと思ってきました。しかし今本当に皆さんの要望にお応えできているのだろうか、深い溝があるのかもと考えるようになりました。たくさんの団体への参画や研修会への参加、認定資格の取得など、たくさんの費用がかかる時代、栄養士会から離れていく方も多くなってきました。大阪府栄養士会、日本栄養士会は私たち管理栄養士・栄養士のための唯一の職能団体で、他の学会や団体では叶えられない地位を大事に守っているところなのですが、それが伝えきれていないと反省しております。今回このようなご挨拶文章を書く機会を頂きましたので、皆様へのお願いを書かせて頂こうと思いました。私は栄養士の仕事について40年近くになります。その間にたくさんの方が大きく変わりました。若いころの栄養指導の担い手は栄養の知識を有するもので、栄養士という名前はありませんでした。パソコンもあまり使用できず、手書きで必死で何時間もかけて作成して指導料は1回75点でした。現在は1回目2600円、2回目1300円とまだまだ安いと思われる方もおられると思いますが、凄く進歩したと思っています。この指導料一つにしても会員で成り立っている栄養士会が厚生労働省などに交渉してひとつずつ叶えていった成果なのです。栄養士の仕事をがんばっている皆様の思いや、地位の向上はこれからも栄養士会が皆さまと一緒に取り組んでいきますので、どうかたくさんの仲間を増やし、日本の栄養の業務は管理栄養士・栄養士が担えるよう一緒にやっていますませんか？数の力は大きな力です。どうか自分のため後進のために一緒に栄養士会を盛り上げていきませんか？私も微力ですが、皆様と一緒に頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



塚田 定信

前回に引き続き、理事をさせていただくこととなり、今期も代表理事(副会長)を拝命いたしました。引き続き府民の皆様への有益な情報の提供や会員の皆様へに活力ある職域となる様努力したいと思っております。

また今期も広報の担当として、府民への情報提供について積極的に推進いたします。会員の皆様の日々の活動をしっかりと府民にご理解していただけるよう、会誌「栄養大阪」、ホームページの充実を図り会員のサポート、情報共有につなげていく所存です。

ホームページもこれまで改修を重ね、より多様な情報を発信してきたところですが、まだまだ府民ニーズ、会員ニーズに応えきれていない部分も感じられます。今期はより積極的な情報の発信と、求める情報が的確に得られるような仕様にしていきたいと考えます。会誌「栄養大阪」と共にどうぞご活用ください。

さて、今年の令和6年度社会保険制度の改定では、診療報酬制度にとどまらず、介護報酬や障害福祉サービスなどの報酬改定も同時に改定となった“トリプル改定”です。その中ではこれまで以上に管理栄養士への期待が高まっております。それぞれの職域で活躍される会員の皆様の業務が円滑に進むようしっかりと情報提供をしていきたいと思っております。

また、今回の改定では、栄養ケア・ステーションの注目度も高まっております。

大阪府栄養士会(栄養ケア・センター)と認定栄養ケア・ステーションとの連携、協力がさらに重要視されております。広報担当としても、この活動を取り広く府民にお届けできるよう一層努力してまいります。

さて、2025年はいよいよEXPO2025が開催されます。日本栄養士会、大阪府栄養士会も積極的な参加の準備を進めております。未来の食、栄養、Japan Nutritionをしっかりとアピールしたいと思いますので、どうぞご期待ください。

今期も適切で、タイムリーな情報が会員の皆様にお届けできるよう勤めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。